



<https://nanao-sh.metro.ed.jp/site/zen>

季節も冬になり、今年も残すところあとわずかとなりました。朝晩ともに冷え込んできていますので、年末年始も体調を崩されないようお気を付けください。

さて、2学期も学校生活の様々な場面でICT機器を活用してきました。今号では、ICT機器、Microsoft Teams の課題機能や読み上げ機能を活用した授業について紹介します。

新しい機器の紹介

【インタラクティブボード（電子黒板）】

新しいインタラクティブボード（電子黒板）が届きました。これまで本校で活用されてきたものから、頑丈な四つ足のカートに変更され、より安全に移動をすることができます。画面のサイズもこれまでより大きくなり、より見やすくなりました。さらに、ホワイトボードのように画面に文字が書けたり、複数の生徒の端末画面を同時にモニターに映し出すことができたり、画面下部に搭載された書画カメラで教科書やプリントを映したりと様々な機能があります。

様々な機能を活用し、児童・生徒が学習により興味・関心をもてるよう、授業で活用を図っていきます。3学期から特別教室等で活用する予定です。



【iPad(教員用)の導入】

教員用の iPad が届きました。本校のほぼ全教員分の台数である 111 台が 11 月に納品されました。諸設定を行い、3 学期から使用を開始する予定です。

これまで教員は、前回御紹介した「デジタル活用端末」を使って授業を行ったり、教員間の教材共有を行ったりしてきましたが、iPad の導入により、生徒に提示する画面が児童・生徒の GIGA 端末や一人一台端末と同一になり、機器を活用することで、主体的に、またより深く学ぶことができる機会を増やしていきます。



ICT 機器の活用例(中学部)

【Microsoft Office365 の課題機能の活用】

1年生の数学の授業では、「Microsoft Office 365」の課題機能を利用して個別課題に取り組んでいます。課題機能は、教員が作成した PowerPoint 資料を対象生徒に配布し、生徒個人が取り組むことのできる機能です。生徒が取り組む様子を教員の端末からリアルタイムで確認することも可能です。生徒が取り組んだ課題をテレビモニターに表示し、全員でモニターを見ながら自己採点をしたり、教員が教員用端末から生徒の回答へ丸付けをしたりすることができます。Apple Pencil を用いて書字することもできます。課題機能を応用して、GIGA 端末やスマートスクール端末を家庭に持ち帰り、週末や長期休業中の宿題として取り組むこともできるようになります。



【テキスト読み上げ機能の活用】

あるクラスでは、朝の会や帰りの会を PowerPoint を用いたテキスト読み上げ機能を活用して行っています。入力した文字を音声で読み上げを行うサイトから音源を生成し、パワーポイントに貼り付けることで司会表が完成します。画面のメガホンマークをタッチすれば音声再生されるため、生徒が司会進行を自ら行うことができます。



テキスト読み上げ機能は、国語の言葉の学習などでも活用しています。画面をタップする簡単な動作で操作できるため、様々な実態の児童・生徒が利用できます。PowerPoint や Keynote 等を使って、中学部以外でも活用の場を広げていきたいと考えています。